

新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化計画書

令和 年 月 日



住所
商号又は名称
代表者名

1. 新型コロナウイルス感染症の影響及び今後の事業見通し及び課題、行動計画

<p>《 新型コロナウイルス感染症の影響 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は〇〇等に使用される××の製造を行っています。多種多様な形・サイズ・デザインに対応でき〇〇性に優れていることを強みとした独自ブランドを投入し、市場・お客様のニーズを的確に捉えた製品開発を行ってきました。 ・かかる中、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた〇〇の需要減により、主力取引先からの受注が減少した結果、最近の試算表時点では売上が前年同期に比し▲%程度減少しています。そのため、次期決算では、前期に比し●百万円程度経常利益の減少を余儀なくされる見通しです。
<p>《 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の事業見通し（概要） 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、営業方法の強化、新商品開発、経費削減等に取り組み、収支改善を目指します。具体的取組内容は下記のとおりです。なお、収支計画は項番2のとおりで、R7/12期以降はR6/12期並み収支の維持を目指します。

今後の事業見通しに係る課題 〔 該当項目に○またはチェック 〕	課題項目を踏まえた行動計画
経営全般	<p><売上・収益></p> <p>○営業力の強化・販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業担当者に任せきりになっていた新規先、既存先への営業活動に関し、訪問予定表を活用し、営業活動状況の管理を徹底して新たな受注確保を図っていきます。 ・既存取引先より、発注先（当社競合先）がこなせない受注（合計で△百万円/月）を当社に任せたいとの打診を受けており、確実に受注を得ることが出来るよう営業担当者が両社に訪問する頻度を高め、当社製品の優位性に関する理解を深めてもらう取り組みを実施していきます。 <p>○その他（新製品開発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により需要が増加した◇◇分野に着目し、当社の強みである〇〇性を活かした新製品を開発・製造し、売上の回復を図ります。 <p>○原価・経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品の共通化を含め、業務フローを標準化する等、固定経費の削減に向けた取り組みを行います。 <p><財務></p> <p>○設備投資計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今般の新製品の開発及び製造にあたって、新規の機械設備が必要となります。また、今後についても、既存事業用機械の更新投資に加え、新商品製造に係る追加投資が必要になる可能性があります。したがって、予め中長期的な設備投資計画を策定したうえで、円滑な資金調達が出来るよう、取引金融機関に対しても事前説明を行っていきます。 <p>○資金繰り計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月次資金繰り計画を策定するとともに、今回の公庫資本性ローンの導入により資本強化を行うことで、関係機関からの折り返し資金を円滑に調達し、資金繰り安定化を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略の策定 IT化の遅れ 事業の「選択と集中」 事業承継・後継者問題 その他（ ） 	
売上・収益	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 営業力の強化 ○ 販路拡大 市場の競争激化 商品開発力 採算分析 ○ 原価・経費の削減 ○ その他（新製品開発） 	
人材・マネジメント	
<ul style="list-style-type: none"> 管理者層の育成 必要な人材の採用 店舗マネジメントの向上 その他（ ） 	
財務	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 設備投資計画の策定 ○ 資金繰り計画の策定 売掛金の回収期間長期化 在庫の削減 その他（ ） 	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> （ ） （ ） 	

2. 業績推移と今後の計画

(単位:百万円)

	前期実績	今期見込	計画1期目	計画2期目	計画3期目	最終目標
	R1/12期	R2/12期	R3/12期	R4/12期	R5/12期	R6/12期
売上高	500.0	450.0	500.0	520.0	550.0	580.0
売上原価	300.0	270.0	295.0	305.0	325.0	340.0
A うち減価償却費	10.0	9.0	18.0	17.0	16.0	15.0
売上高総利益	200.0	180.0	205.0	215.0	225.0	240.0
販売管理費	190.0	180.0	185.0	190.0	195.0	200.0
人件費	100.0	90.0	90.0	90.0	95.0	10.0
うち役員報酬	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
B 減価償却費	10.0	9.0	8.0	7.0	6.0	5.0
営業利益	10.0	0.0	20.0	25.0	30.0	40.0
営業外収益	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
営業外費用	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
C 経常利益	-5.0	-15.0	5.0	10.0	15.0	25.0
特別損益	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
法人税等	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	13.0
当期利益	-3.0	-13.0	7.0	12.0	10.0	14.0
総資産	680.0	727.0	689.0	656.0	641.0	610.0
総負債	700.0	760.0	715.0	670.0	645.0	600.0
自己資本	-20.0	-33.0	-26.0	-14.0	-4.0	10.0

3. 借入金・社債の期末残高推移（※協調支援予定含む）

(単位:百万円)

調達先	前期実績	今期見込み	計画1期目	計画2期目	計画3期目	最終目標	
	R1/12期	R2/12期	R3/12期	R4/12期	R5/12期	R6/12期	
既存借入金	A銀行	120.0	110.0	100.0	90.0	80.0	70.0
	B銀行	100.0	90.0	80.0	70.0	60.0	50.0
	C信用金庫	90.0	80.0	70.0	60.0	50.0	40.0
	日本公庫	50.0	40.0	30.0	20.0	15.0	10.0
小計	360.0	320.0	280.0	240.0	205.0	170.0	
社債	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
新規借入金	0.0	100.0	95.0	90.0	100.0	90.0	
D 合計	360.0	420.0	375.0	330.0	305.0	260.0	

4. 必要資金と調達先（事業の継続・発展を図るための必要資金（※協調支援予定含む））

<ul style="list-style-type: none"> ・新製品製造に係る機械設備：日本公庫 50 百万円（R2/10月予定） ・ITインフラ設備：Aベンチャーキャピタルからの出資 50 百万円（R3/3月予定） （Aベンチャーキャピタル問合せ先）電話番号■■■■■■■■■■、ご担当キャピタリスト △△氏 ・資金繰りのための折り返し資金：B銀行 50 百万円（R2/12月予定） （B銀行問合せ先）電話番号〇〇—〇〇—〇〇、ご担当（役席）〇〇融資課長
--

(※) 融資決定前及び融資後1年以内に状況確認のため公庫から取引金融機関等に連絡させて頂くことがありますので、取引金融機関等に事前にご了解を得ておいてください。